

軒並み悪化 広がる都市部との格差 景気回復の実感はない

- ★ 「当面の経営上の問題点」について、1位が「需要の停滞」の177社。2位が「原材料価格の上昇」の90社。続いて3位が「ニーズの変化への対応」で63社。
- ★ 「従業員の過不足状況」について、約4分の3の188社（75.2%）が「適正」と回答。「不足」の40社（16.0%）。に対し、「過剰」は22社（8.8%）
- ★ 「今年度に入っての従業員の給与」については、「給与を上げた」と回答したのは63社（25.9%）。逆に「給与を下げた」は11社（4.5%）。「給与を据え置いた」のは169社（69.5%）と大多数。全体の約4分の3が昨年の給与と同等もしくはそれ以下に低下と収入の面からも景気回復の実感なし。

平成19年 **4～6月期** 三次商工会議所管内（旧三次市）景況調査【概要】

三次商工会議所

平成19年7月に実施した第69回三次商工会議所管内（旧三次市）景況調査の結果は次のとおり。

本調査は、三次商工会議所管内（旧三次市）の企業を対象に四半期ごとに実施するもので今回が69回目。

市内の500事業所を抽出し、集計企業数は260社（小売業75社、卸売業31社、製造業43社、建設業62社、運輸・交通業17社、観光・サービス業32社）で回収率は52%。

【概況】

今期（4～6月）の調査結果を見ると、自分の事業所の状況をどう見ているかを示す業況D.Iは、全業種平均で前回調査（▲24.2）からマイナス幅が15.7ポイント拡大して▲39.9と2期連続でマイナス幅が拡大した。業況が「やや好転」と答えた事業所が全体の10.5%、「やや悪化」が31.6%、「かなり悪化」が18.8%だった。ちなみに「かなり好転」と回答した事業所はない。業況D.Iは「好転割合」から「悪化割合」を差し引いた数字で、▲39.9となる。同じように、売上D.Iも13.3ポイント拡大して▲34.4。採算D.Iについてもマイナス幅が15.5ポイント拡大して▲47.0と軒並み悪化した。

原材料(商品)仕入価格D.Iについては、前回調査時より13.8ポイント上昇し40.5と3期ぶりに上昇。

また、今回事業所に聞いた「現在の景気」について、「好景気である」（1社）、「景気が良くなってきている」（3社）と回答した企業を合わせてもわずか4社であり、全体の約3分の2にあたる165社が「景気回復の実感はない」と回答。「本当に不景気である」と回答した60社を含めると約9割近い225社は景気の回復を感じておらず、景気についても、大企業などのある都市部と三次市のような山間部との「格差」が起きている。

※ DI値（景況判断指数）について

DI値は、業況・売上・採算などの各項目についての、判断の状況を示す。

ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものでなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを意味する。

業況DI (好転割合) - (悪化割合)

売上DI (増加割合) - (減少割合)

採算DI (好転割合) - (悪化割合)

業況は、全業種合計は▲24.2から▲39.9と15.7ポイントのマイナス幅拡大。業種別にみると、卸売業と観光・サービス業を除く4業種で拡大した。特に小売業で▲48.0、建設業で▲47.5、数は少ないものの運輸・交通業で▲56.3とこの3業種の悪化が目立つ。

売上は、全業種合計では▲21.1から今期▲34.4と13.3ポイントのマイナス幅が拡大。業種別では、業況同様、卸売業と観光・サービス業を除く4業種で悪化した。今後、売上を伸ばすために事業所が力を入れることの第1位は「販売の強化（販路拡大・営業力の強化）」で4割強の100社。「現状で頑張ってみる」と回答した事業所も78社と3割強を占めている。

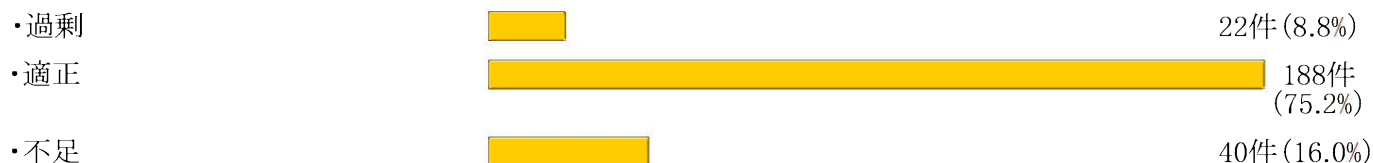
原材料(商品)仕入価格は、全業種合計で26.7から13.8ポイント上昇し40.5。経営上の問題点の上位3つ以内に「原材料価格の上昇」を挙げた事業所が90社（全体の3社に1社の割合）もあった。

採算は、全業種合計は▲31.5からマイナス幅が15.5ポイント拡大して▲47.0。業種別にみると、観光・サービス業を除く5業種で悪化した。採算が悪化したと回答した132社のうち、主な理由は「売上の減少」（94社）。

【当面の経営上の問題点】



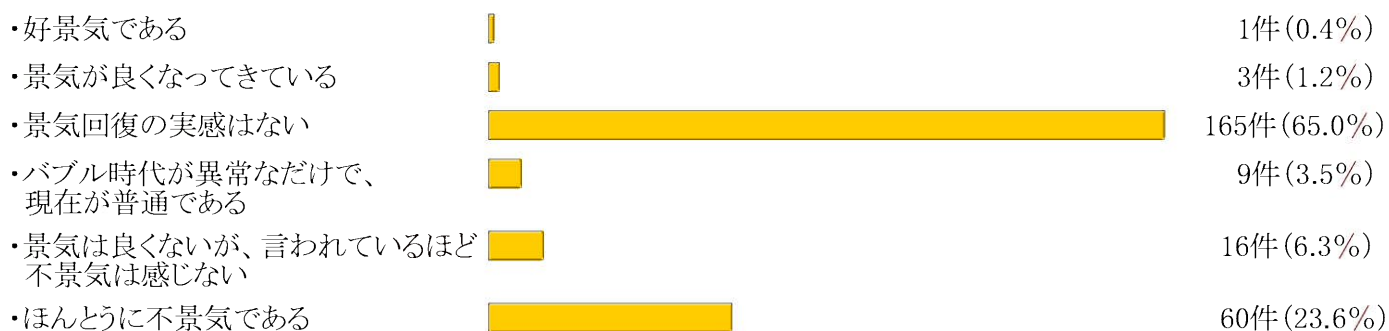
【従業員の過不足状況について】



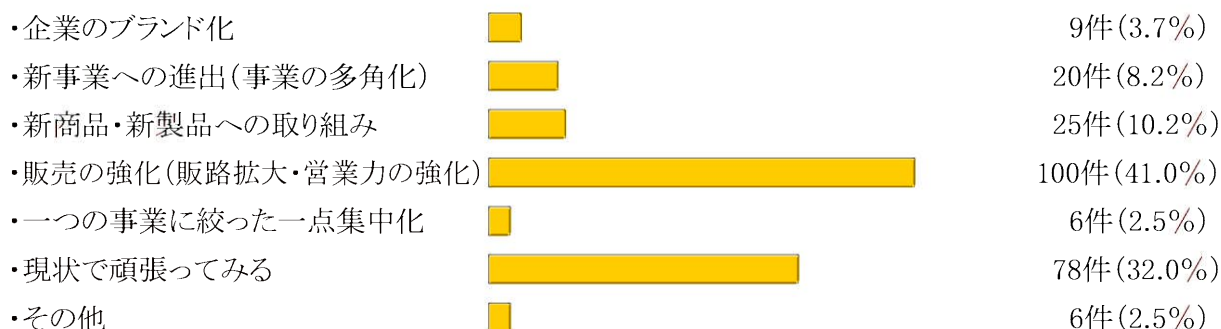
【今年度に入って従業員の給与をどのようにされましたか？】



【「不景気である」とか「景気が良くなっている」などといわれていますが、現在の景気について実際どのようにお考えですか？】



【今後、貴事業所が売上を伸ばすためにどのようなことに力を入れられますか？】



【業況DI】

	前期に 比べて	来期の 見通し
全業種	▲ 39.8	▲ 33.1
小売業	▲ 48.0	▲ 33.3
卸売業	▲ 16.1	▲ 13.3
製造業	▲ 37.2	▲ 37.5
建設業	▲ 47.5	▲ 37.7
運輸・交通	▲ 56.3	▲ 52.9
サービス業	▲ 23.3	▲ 25.0

(好転割合 - 悪化割合)

【売上DI】

	前期に 比べて	来期の 見通し
全業種	▲ 34.4	▲ 27.2
小売業	▲ 34.2	▲ 29.0
卸売業	▲ 10.0	▲ 3.3
製造業	▲ 31.0	▲ 28.9
建設業	▲ 49.2	▲ 36.1
運輸・交通	▲ 50.0	▲ 35.3
サービス業	▲ 25.8	▲ 21.4

(増加割合 - 減少割合)

【採算(営業利益)DI】

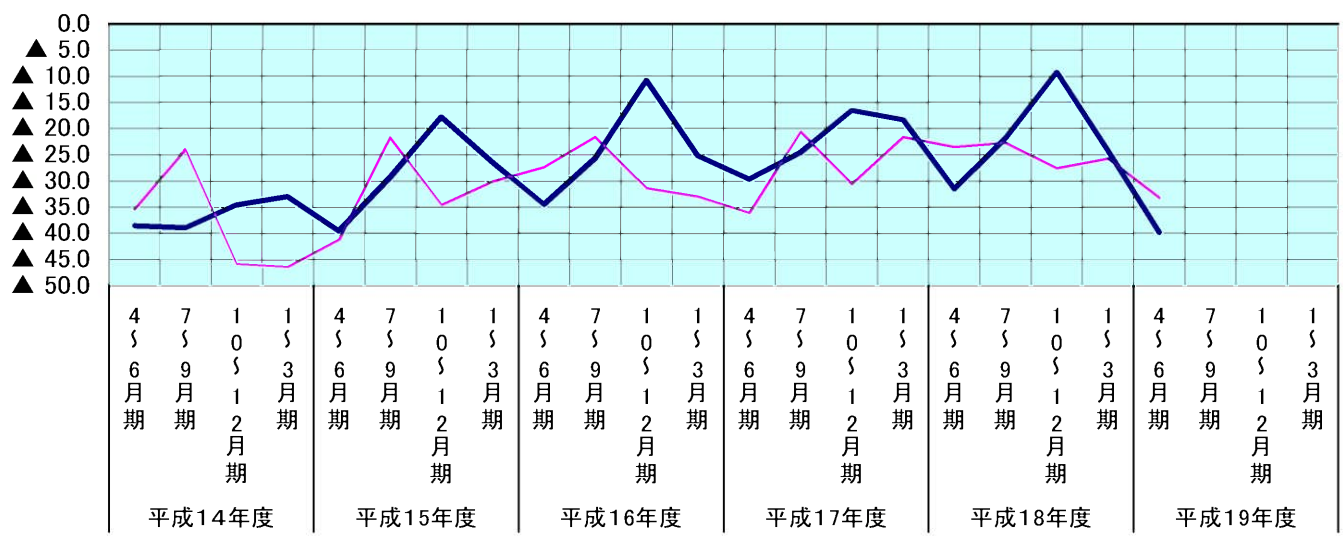
	前期に 比べて	来期の 見通し
全業種	▲ 47.0	▲ 43.0
小売業	▲ 53.4	▲ 42.0
卸売業	▲ 25.8	▲ 30.0
製造業	▲ 50.0	▲ 43.6
建設業	▲ 59.0	▲ 49.2
運輸・交通	▲ 60.0	▲ 56.3
サービス業	▲ 19.4	▲ 37.0

(好転割合 - 悪化割合)

全業種

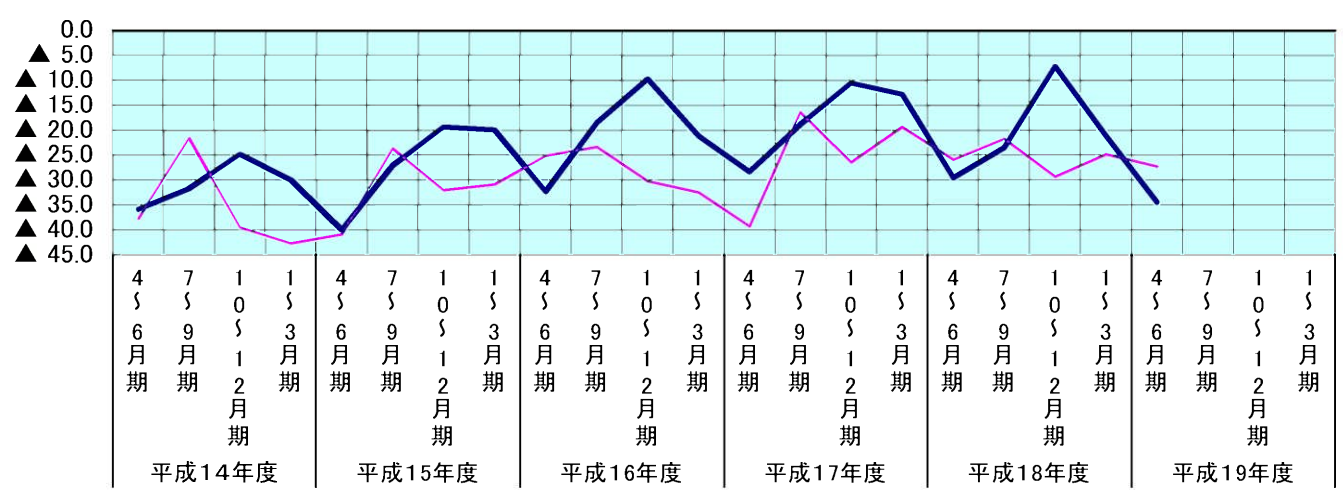
業況D.I.の推移

前期比 来期見通し



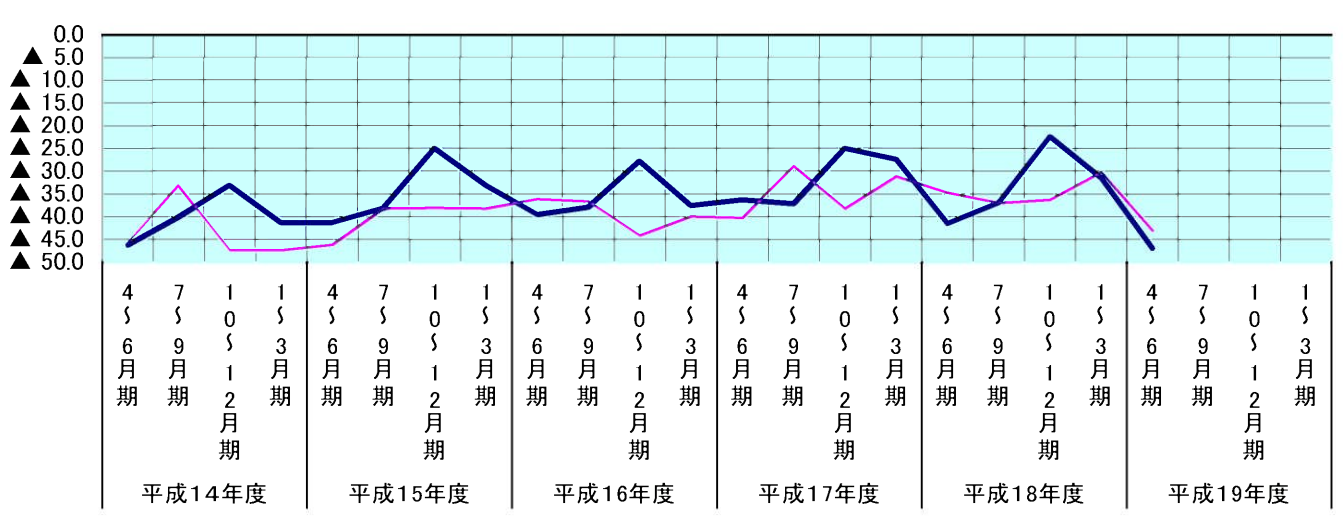
売上D.I.の推移

前期比 来期見通し







































採算D.I.の推移

前期比 来期見通し



【景気天気図】

業 種	項 目	業 況	売 上	採 算
小 売 業	4月～6月 実 績			
	7月～9月 見 通 し			
卸 売 業	4月～6月 実 績			
	7月～9月 見 通 し			
製 造 業 (工 業)	4月～6月 実 績			
	7月～9月 見 通 し			
建 設 業	4月～6月 実 績			
	7月～9月 見 通 し			
運 輸・交 通 業	4月～6月 実 績			
	7月～9月 見 通 し			
観 光 サ ー ビ ス 業	4月～6月 実 績			
	7月～9月 見 通 し			

景気天気図の説明








大変良い 良い まあまあ 少し悪い 悪い 大変悪い